

# かわにし

議会だより

第110号

2012

7.15



そよ風に  
誘われて

ホッケー競技場

人工芝工事着工 ..... 2

農業問題など3議員が町政をただす ..... 8

町が東京電力に賠償請求 ..... 15

NPO法人あおぞら保育園 P12に関連記事

6月定例会の  
あらまし

6月定例会が6月8日から21日までの14日間の会期で開催されました。  
第1日目に、平成23年度2会計の繰越計算書の報告、財政援助団体の経営状況3件の報告の後、4会計補正予算の専決処分を承認しました。平成24年度2会計補正予算を一括上程し、予算特別委員会に付託しました。  
第4日目に、一般質問を行い3議員が農業・商業問題を

などを取り上げ、町政をただしました。  
第5日目を以て、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査しました。  
最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き、副町長の人事に同意、付託した2議案を原案通り可決し、請願1件を一部採択、1件を採択して、2件の意見書を国に提出しました。

ホッケー競技場

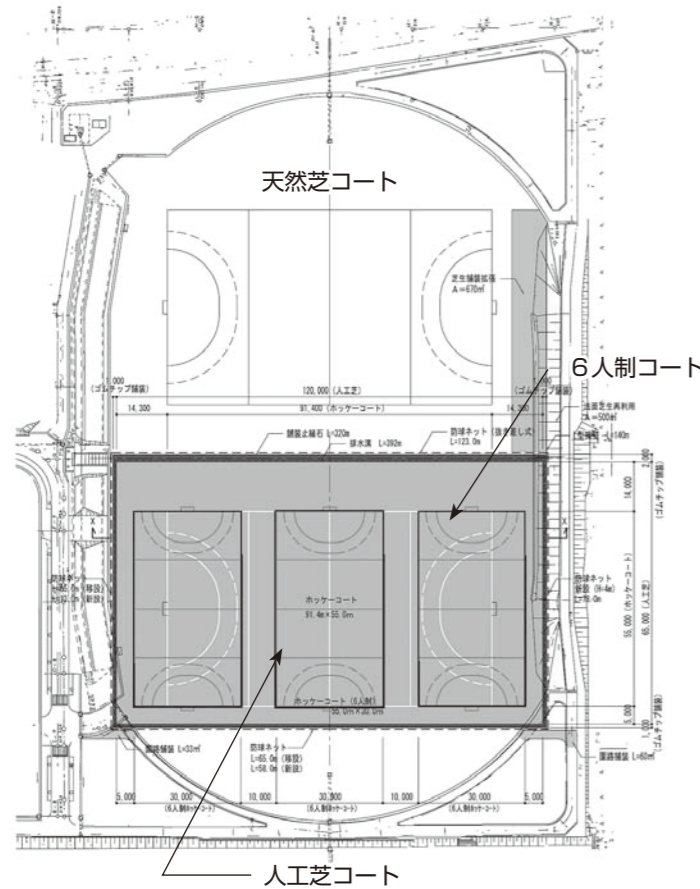
人工芝工事着工

工事費2億5200万円



ホッケーの町川西に人工芝コートができ、競技力の向上に期待がかかる。

ホッケー場平面図



定例会最終日に、  
総合運動公園整備  
工事請負契約の締結  
議案が提案され、可決  
された。

- 現在のホッケー競技場の内1面を人工芝コートに整備し、天然芝1面もエアレーション、レベル改修などの整備を行う。
- 工事請負の契約金額は、2億5200万円。工事の概要は以下のとおり。
- ・ ホッケー競技場舗装 (エアレーション) 5647㎡
  - ・ サンドドレسد (砂入り) 人工芝8024㎡、11人制1面
  - ・ ジョギング走路舗装 763㎡
  - ・ 舗装止縁石327m
  - ・ 園路舗装 (新設) 66㎡
  - ・ 天然芝舗装改修 (レベル改修) 2114㎡
  - ・ 排水施設 (側溝工、集水枡工)
  - ・ 防球ネット (6m高) 415m
  - ・ 出入口 (4m高) 122m
  - ・ 出入り口 (4m×4m) 3カ所
  - ・ (1m×2m) 4カ所
  - ・ L型擁壁

(緩衝材有り) 62m  
(緩衝材無し) 68m  
・ 土留め28・9m

また、財源については、スポーツ振興くじ助成金として6054万5千円が内定しており、残りは過疎対策事業債をあてる。

工期は6月25日から9月30日とした。

**川**西町は平成4年47回国民体育大会でホッケー競技の会場となったことを契機に、ホッケーの町として全国、東北大会のホッケー競技場となってきた。

しかし当時整備した競技場は、天然芝コートであり、近年は東北でも山形以外はすべて国際基準である人工芝コートに整備されており、競技団体、関係者の間から早い時期の人工芝コート整備が望まれていた。

町は一昨年の「過疎地域自立促進計画」に人工芝ホッケー場の整備を盛り込み、昨年度スポーツ振興審議会に諮問し、最終方針として

人工芝には散水が必要だが、給水施設工事費はどれくらいか。

**問** 天然芝には散水が必要だが、給水施設工事費はどれくらいか。

**答** 設計段階で約700万円である。

**全員賛成で可決**

人工芝に期待する

かんのまさし  
置賜農高3年 神野政志さん

今回、川西町に人工芝の競技場ができることは、大変うれしく思います。

今までの天然芝とは違い人工芝で練習ができることにより、各種大会でプレーする時に大いにプラスになると思います。

しまぬきしょうへい  
置賜農高2年 島貫祥平さん

大きな大会が山形県(川西町)でも開催できるので楽しみです。

人工芝の競技場はクレー、天然芝のコートと比べるとボールのスピードが違う(速い)ので、早く新しいコートでプレーしたいです。

※エアレーション  
芝生を活性化させるため、地中に空気を送ること

# 平成24年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	91億3003万円 (1303万円を追加補正)	賛成多数により可決 (反対1)
介護保険事業特別会計	16億2222万円 (139万円を減額補正)	全員賛成により可決

## 補正 予算

# 自然のつめあと ― 豪雪暴風 道路・施設を改修

## 平成24年度補正予算(第1号)の主な事業

一般職員給与費(退職手当負担金減額)	▲ 4136万円
コミュニティ助成事業(東沢自主防災会、遅筆堂文庫)	560万円
自然災害対策事業補助金	418万円
町有財産維持管理事業(緊急伝達システム修繕)	110万円
同(庁舎修繕)	56万円
同(エアコン・空調設置工事費)	171万円
道路維持修繕費	500万円
合併処理浄化槽設置整備事業	480万円
農林水産業創意工夫プロジェクト支援	429万円
小学校、中学校維持管理事業	625万円
公共土木施設災害復旧事業(測量委託費)	214万円
財政調整基金積立金	1481万円



2年連続の豪雪に立ち向かうボランティア活動

今冬の豪雪、4月3日〜4日の暴風による被害に対し、予算を補正するもの。公共施設1308万円のほか、農業施設被害に対する復旧経費429万円の支援を行い農業者の負担軽減を図る。

1737万円

### 豪雪・暴風対策

予算特別委員会は、常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など2会計補正予算を審議しました。ここでは総括質疑、主な補正予算、分科会での質疑を要約してお伝えします。

**高橋** 財政調整基金の積み立てが5億3844万円となっている。玉庭小学校体育館の屋根改修をはじめ、町有施設の維持管理については、財政調整基金をもっと積極的に活用すべきであると思うかどうか。

**教育総務課長** 学校施設については、修繕、維持管理計画を立て、優先順位を決めながら計画的に実施している。玉庭小学校体育館の屋根は、25年度以降に維持管理計画に基づいて修繕を行う予定である。

**財政調整基金は有効に活用すべき**

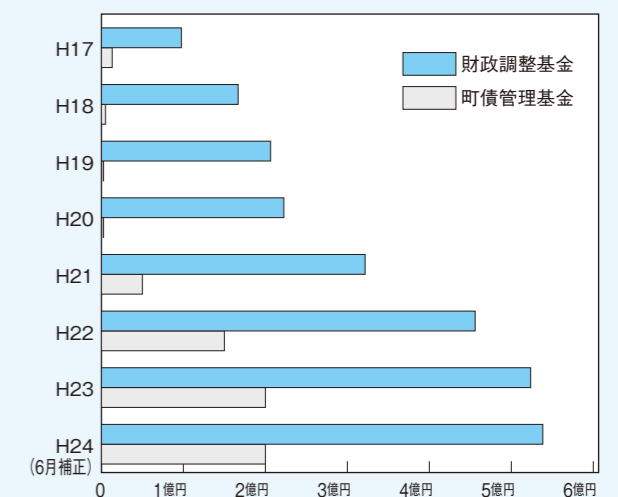
高橋輝行 議員

### 総括質疑

## 豪雪・暴風対策の概要

	主な内訳	
公共施設関係	・役場庁舎修繕	56万円
	・各小中学校修繕	464万円
	・町道修繕	500万円
	・町道凍上災害測量委託料	214万円
	・緊急伝達システム修繕	72万円
農業施設関係	(1) 農業施設復旧支援	418万円
	(2) 農業施設復旧資金利子補給	10万円

## 財政調整基金・町債管理基金の推移



## 創意工夫プロジェクト支援

429万円

県では、農林水産業を起点とした産出額(売上額)の増大を図るため、「農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業」を平成21年度から実施している。

今回補助の対象となったのは農事組合法人夢里と小松字大豆組合の2団体。



## 合併処理浄化槽設置整備

480万円

個人が設置する合併処理浄化槽に対し、これまで国と町がそれぞれ20%を補助していたが、県が24~27年度の時限措置で20%を補助する。設置者への補助は60%となり、負担軽減が図られる。



# 繰越明許



耐震化事業によって新しくなる小松小学校

## 23年度から7億817万円 4事業を繰越し 小松小学校新築工事など

### 平成24年度に繰越した事業

防災施設整備事業（役場本庁舎、分庁舎発電機設置工事）	1165万円
農業体質強化基盤整備促進事業（団体営事業負担金）	24万円
小松小学校耐震化事業（校舎新築工事）	6億9070万円
介護保険システム改修経費	557万円

**繰越明許費**  
「繰越明許費」とは、年度内に予定していた事業が終わらず、支出でなくなった予算を翌年度以降に繰り越して事業を行う支出できる予算のこと。

鉄筋コンクリート3階建だが、温かみを醸し出すため、できるだけ木材を使用することになっている。また太陽光発電施設を取り付ける。

平成23年度から平成24年度に繰越されたものは、一般会計3事業で7億259万円、介護保険事業特別会計1事業で557万円となり、全体の繰越明許費

平成23年度から平成24年度に繰越されたものは、一般会計3事業で7億259万円、介護保険事業特別会計1事業で557万円となり、全体の繰越明許費

は7億817万円となっている。

特に、小学校耐震化事業による小松小学校の新築工事が繰越され、6月5日に起工式を行い、24年度以降の事業費は10億2174万円が予定されており、26年度から供用する計画である。

## 増加する 空き家対策をしっかりと

### 総務文教 第1 分科会

**問** 生活安全事業（空き家対策）の内容は。

**答** 町内には約180の空き家がある。相続放棄などにより管理が行き届かない空き家で、隣家や道路通行者に被害を及ぼす恐れがある建物を取り壊し、敷地内に部材を積んで飛散防止の処理を行う。今冬の豪雪の影響で倒壊した3件を対象としている。

今後の施策などは、住民生活課、総務課（防災）まちづくり課、地域整備課で協議を行う。

**問** 財政調整基金の積立額が増えているがその考え方は。

**答** 将来にわたる対応と財政健全化に向けた取り組みを想定して積み立てている。

**意** 積み立ての考え方を今後も十分説明するとともに、

適正な執行を行うよう求める。

**問** 大塚地区交流センターの工事の内容は。

**答** 水道水に石油臭があることから、敷地内の水道管を敷設替えるもの。

**問** 小学校教育コンピュータ管理事業の校務用パソコンの補充の内容は。

**答** 東沢小学校において、複式学級の解消により1クラス、特別支援学級1クラス、合わせて昨年度より2クラス増となり、県の教員配当基準により3名増員となったことによるもの。

**問** 給与費中、退職手当の減額の理由は何か。

**答** 当初予算に積算すべきでなかった消防職員38人分の退職手当負担金を減額するもの。

### 産業厚生 第2 分科会

## 後継者を育てる 人・農地プランに

**問** 町道の災害復旧事業の内容は。

**答** 本年2月に発生した低温により被災した路面の「公共土木施設災害復旧事業」に査定申請するための調査設計委託料であり、北向線270m、坂水田中線1kmの2カ所を予定している。

**問** 障害者自立支援特別対策事業の詳細は。

**答** 旧法から新体系に移行する事業者に対する激変緩和措置を3カ月分見込んでいたが、1年間延長されたので通常ベースの予算を確保するため増額となった。

**問** 人・農地プラン作成事業の補正内容は。

**答** 国の戸別所得補償経営安定推進事業に基づく人・農地プランの作成が各区域で行われているが、集落、地域などでの同プラン作成費や検討会に要する経費の増額である。

**意** 農地集積に意欲のある個人への支援、生産した農産物の販売先である実需者との結び付きの支援、集落、地域でのプラン作成に係わる町独自の支援を検討するように求める。

**問** 合併浄化槽設置整備事業の増額補正の内容は。

**答** 本年から実施される「山形県の新たな浄化槽支援制度」による浄化槽水環境保全推進事業が24年度から27年度までの期限措置で実施されるが、その補助金である。

**意** 県に対して制度の拡充を要望するように。

**問** みどり環境交付金事業の内容は。

**答** 置賜農業高校とタイアップし、町有林の下刈実習事業費を追加するもの。

# 一般質問

## 井上ひさし記念館の開設を求める

### 町長 — 施設整備を検討する時期が来ると考えている

**齊藤** 本町出身の井上ひさし先生が逝去され、2年が過ぎた。

さらに広め伝えるため、「井上ひさし記念館・文学館」の早期開設を求める声があるが。

**町長**

遺族の皆さんと相談させていただき、その意志を尊重することが最優先と考

えている。

また、鎌倉のご自宅には、貴重な資料などがたくさん残っている。今後それら国民的財産を提供していただくことができれば、先生の功績を後世に伝え残していく役割を果たす

きた。

**町長** シベールが開設した当時は、本町の遅筆堂文庫を「母

館」とし、山形館を「分館」とされた。

今年4月からシベールは、公益財団法人「弦」地域文化振興財団となり、本町とは貸出協定を締結し2万2千冊余の資料の貸し出しを行っている。

また、「弦」が今年の3月開設した、「母と子に贈る日本の未来館」は、井上先生との関係はない。

さらに、仙台文学館との関係は、井上先生の遺族とも相談しながら



齊藤智志 議員

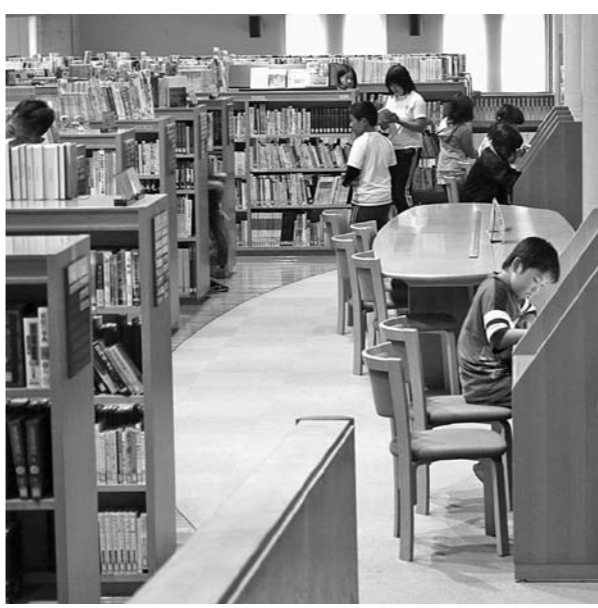
定例会2日目に、3人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

ら生原稿の保存・管理を引き受けていただいている関係である。

**齊藤** 藤沢周平記念館など、記念館を建設しているところは開設まで多くの年数を要している。井上記念館建設の決意を改めて求める。

また、観光目的など多くの課題があり、時間をかけて準備を進める必要がある。

**町長** 井上先生が亡くなられてからも初版本が出版されている。著作権の問題や記念館・文学館の目的や使命をどこに置くか、



本を読むことが井上ひさし先生の遺志—遅筆堂文庫

## ヤマザワ川西店などに意見は

### 町長 — 意見を聴く機会をつくる

**高橋** まず冒頭に、横沢三男(元)町

長に心より哀悼の意を表したい。

さて、ヤマザワ川西店の店舗変更の際、去る5月15日の説明会について尋ねる。

**町長** 住民及び商業関係者を含め15名の参加で40分程度の説明会との報告を受けた。

**高橋** 本町の小売商業販売額をみると、年々落ち込んでいる。商業振興策についての考えは。

**町長** 商業の振興、活性化には、事業者自らが意識を高め、独自性と新たなサービスにより購買意欲につ

なげていくことが課題と考えている。

**高橋** 平成12年6月に改正された現

大店立地法では届出内容に対し、町と商工会が意見を述べる事ができるとあるがどうか。

**町長** 法第8条では、所在地の市町村から意見を聴くことが定められている。商工関係団体も同様になっているのでその機会をつくる。

**高橋** 山形市では、国の都市計画法・建築基準法の改正に伴い、人口減少や超高齢化社会が到来する中で郊外への拡散を抑制し、町の機能を市街地に集

合させる街づくりをめざしている。今までの考え方を転換して、多くの人々にとって暮らしやすさを実現するための条例等の見直しを行っている。

また、市は用途地区の大幅な見直しをし、大規模集客施設の無秩序な立地に規制をしている。

**町長** 県都にふさわしい賑わいづくりや、中心部と郊外のバランスのとれた街づくりが進められていると評価している。

**高橋** 3期目就任の挨拶で『謙虚に堂々と』と申されたが、理解しがたいので尋ね

る。

謙虚とは、相手の考えをすなおに受け取る態度であり、堂々とは、つけ入るすきの無い様子という。私はこの語呂合せに非常な違和感をもつがどうか。

**町長** 今後4年間を仕上げる時期と位置付け、主要プロジェクト推進による持続性のあるまちづくりを進める決意である。改めて謙虚さを失わず常に慢心のないよう自戒し、

重責を担う覚悟の姿勢をもちたい。

を「謙虚に堂々と」と表したものである。相反するし、反対とも言える言葉だと思いが、元NHKアナウンサー加賀美幸子さんの表現を引用したものだ。

**高橋** 横沢(元)町長の引用した言葉に『権不十年』がある。権力者が10年以上続けると腐敗するという。また、同類語ではないが『捲土重来』という言葉もある。それらを踏まえて3期目に臨んでほしい。



高橋輝行 議員



商業振興と活性化にどう資する(ヤマザワ川西店建設予定地)



橋本欣一 議員

# 消費税の引き上げをどう思うか

## 町長 ー 社会全体が負担する仕組みとして消費税は有効と思う

社会保障と税の一体改革について

**橋本** 消費税が10パーセントに引き上げられた場合、川西町に対する影響は大きなものがあると思う。町財政や町民生活にどう影響するか。

**町長** 町財政では地方消費税交付金として本年の約2倍の3億円になると推測される。約半分が社会保障財源とされる見込みで

ある。一方、景気動向を見極め、雇用・消費・営業の動向による町民税への影響を注視する必要がある。

**橋本** 消費税引き上げは景気の低迷による企業活動の停滞・雇用の喪失など地域全体が落ち込むと思う。そもそも税は応能負担が原則で、所得の少ない人から同じく徴収する消費税は不公平であると思う。

**町長** 国の財政状況と年々増加する社会保障費、地方財政の安定化を考えると、安定的な財源の確保という点では、消費税の役割は大きいと認識している。ただし、社会保障の仕組みづくりや増税した場合の経済活動の停滞など課題が多く、慎重な対応が必要である。

**橋本** 持続可能な農業の実現のために、国では平地で20〜30ha規模の経営体(者)ををめざし、土地の集積を図るとしている。現実には土地条件の問題や離農者の雇用の問題など難しいと思うが、どう考えるか。

**町長** 担い手と農地の維持の問題を一体的に解決していく必要がある。

人・農地プランについて

**橋本** 持続可能な農業の実現のために、国では平地で20〜30ha規模の経営体(者)ををめざし、土地の集積を図るとしている。現実には土地条件の問題や離農者の雇用の問題など難しいと思うが、どう考えるか。

**町長** 担い手と農地の維持の問題を一体的に解決していく必要がある。

要がある。集落・地域の主体的な判断を尊重しながら意欲ある担い手が農業を發展できるよう誘導したい。集落・地域で徹底した話し合いをし、集落営農組織への発展や、6次産業化などにより雇用創出なども模索したい。

**橋本** 川西町では各地区ごとの取り組みが始まったが具体的な成果はどうか。  
**町長** これまで24回463人の方に説明を行ってきた。東沢では人・農地プラン作成委員会を設置し、地区全体で取り組まれている。地区ごとに具体的に進み始めている。



持続可能な農業の実現が急務ーこうぞく地区圃場整備

# ダリヤパークサービス(まどか) 経営改善へさらに努力を

ダリヤパークサービスは、浴浴センターまどかの設置目的である、町民の保養、健康増進、地域間交流などの事業を行っている。

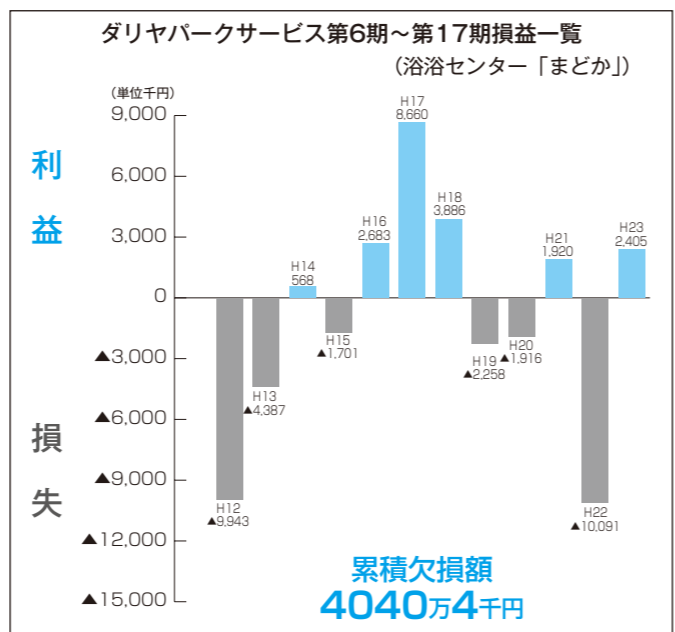
平成23年度は、東日本大震災などの影響や中東情勢の不安による原油の高騰などにより、厳しい環境だったが、単年度では240万円

の黒字となった。総利用者数で1万5千人が減少し、前年度比で83・2%の利用となった。宿泊利用者は、前年度比で127・2%と増加したが、これは震災の二次避難所として指定を受けたことによるもの。



5年ぶりに黒字に転換したダリヤパークサービス(浴浴センターまどか)

売上高は、前年度比で328万9千円減少したものの、町の指定管理料(町からの助成金)の増額もあり、総売上高は、1億2876万円となり、前年度と比較して28万1千円の増額となった。24年度は、「まどか」がオープンして20年になることから、各種イベントの開催や団体利用者の拡大を図るためさまざまな企画と併せて平日や閑散期の期間限定料金の設定などにより、誘客活動に力を入れる。



**川西町体育振興公社** 体育振興公社は、23年度も理事10名、評議員12名、職員4名の体制で、町の体育館を含む周辺の施設の管理運営と町から委託を受けた各種スポーツ大会の開催や町民の健康と体力づくりなどの事業を行ってきた。24年度から、法律の改正に基づき財団法人から「一般財団法人体育振興公社」となる。役員体制は理事5、監事2、評議員5となる。

**川西町土地開発公社** 土地開発公社は、23年度も駅東地区住宅分譲地並びに尾長島地区企業誘致用地の売却が進まず、24年度も引き続き重点事業となった。

※一般財団法人 剰余金の分配を目的としない財団で、その行う事業の公益性の有無にかかわらず、登記により法人格を取得した財団。

# 請 願

## 一部採択

◎脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求める意見書提出の請願

《請願者》

山形市木の実町12番37号大手門パルズ4階  
山形県平和センター内  
さようなら原発 県民アクション

呼びかけ人代表

高橋 義夫

《紹介議員》

高梨 勇吉

高橋 照夫

黒澤 巖

《審査の経過と結果》

3月定例会で「継続審議」となった、脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求めた請願の審査を行った結果、「原発を再稼働させず順次廃炉にすべき」という項目を除き、脱原発に向けた再生エネルギーへの転換、放

射能汚染物処理などの項目を「一部採択」とした。この「一部採択」は、本町議会が始まって以来の出来事である。賛成多数で一部採択

(反対1)

## 採 択

◎脳脊髄液減少症の医療に関する請願

《請願者》

最上郡戸沢村名高989番地

脳脊髄液減少症友の会

《紹介議員》

代表 荒川ミキ子

橋本 欣一

《審査の経過と結果》

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツなどの衝撃で脳や脊髄を覆う硬膜が損傷し髄液が漏れ出て頭痛などを引き起こす病気である。しかし、保険が適用されず、その適用などを求める請願である。賛成多数で採択

(反対1)

# 人 事

## 副町長の選任に同意



高橋款副町長が平成24年6月30日をもって任期満了となることから、引き続き同氏を副町長として選任することに同意した。

●高橋 款

住 所 川西町大字上小松

賛成多数で同意 (反対1)



## 表紙の写真

そよ風に誘われて

6月末になり、ようやく暖かい日が続き、NPO法人あおぞら保育園の子どもたちも、のびのびと外で活動できる環境となりました。この日は、先生に連れられてタリヤ園に向かうところでした。当初カメラを向けられて緊張（警戒）していましたが、先生に言葉をかけられてようやく和んでくれました。先生と子どもたちの信頼関係（絆）の強さを痛感しました。

子どもたちの笑顔が町の一番の宝物であることを、再認識させられました。

# 意見書

## 国に2意見書

# エネルギー政策転換を

◎脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求める意見書

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、



目に見えない不安を解消するため放射能を測定—役場前

深刻な放射能汚染を引き起こした。吉村山形県知事が卒原発を提唱しているが、このような状況を踏まえ原子力に依存しないエネルギー政策への転換など、2項目を国に求めるもの。

①エネルギー政策を原子力発電依存から再生可能エネルギーへ転換すること。

②放射能汚染物の処理に万全を期すとともに放射能情報を随時国民に公表すること。

賛成多数で可決 (反対1)

◎脳脊髄液減少症の医療に関する意見書

交通事故、スポーツなどの衝撃で脳や脊髄

を覆う硬膜が損傷し、内部の髄液が漏れておきる「脳脊髄液減少症」は、頭痛などの症状を引き起こす。

治療に有効とされる「ブラッドパッチ療法」が保険適用となっていないため患者の負担軽減を図るよう、国に3項目を求めるもの

①一刻も早くブラッドパッチ治療を保険適用とすること。

②厚生労働省の研究班山形大学医学部で行っている治療研究の募集を広く行い、希望者は全員治療すること。

③脳脊髄液減少症の医療費窓口負担を無料にすること。

賛成多数で可決

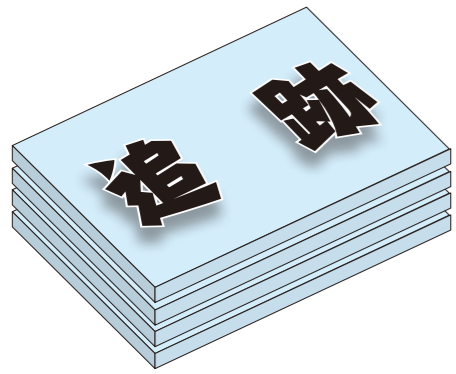


## 広報モニターから ひとこと④ 東 沢 鈴木 憲和 さん

私は農業を職業としていますが、昨今の農業情勢の厳しさ、とりわけ米価の低迷、TPP問題など、先行きの不安から農業以外の問題にあまり関心を持たないで来ました。そんな中、議会広報モニターの依頼を受け、二十数年ぶりに議会を

傍聴する機会を得ました。町民の代表として、厳しい財政の中でも様々な角度から問題を捉え、真摯に取り組む姿を拝見しました。加速する高齢化、そして雇用の悪化により、若い人が定職を持たないという厳しい現実、不安ばかりが渦巻き、今までどおりが通用しない時代となりました。魅力あるまちづくりに向けて、町民一人ひとりが関心を持ち、どういう立場でまちづくりに関わっていくのか、今あらためてそれが問われています。議員の皆さんには、私たちの代表として幅広い意見を聞き、地域の課題やまちづくりの取り組みを望みます。私自身もこれを機会に、町政について今まで以上に理解を深めていきたいと思えます。

※ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入法）脳脊髄液減少症の有効な治療法。自分の血液を採取して腰や脊髄の硬膜外側に注入する。



# あれから…… どうなった！

## 大震災 町が東京電力に賠償請求 315万円

災害救助法では、都道府県が、他の都道府県から要請を受けて行った救助に要した費用は、救助を受けた都道府県が支払うことと

### 災害救助法による負担金の請求

このたび町から対策会議に、災害救助法に基づく県に対する負担金の請求を行ったことや、東京電力に対して損害賠償請求を行ったことが報告された。

町議会は逸早く「東日本大震災対策会議」（会長島貫徳右エ門副議長）を設置し、岩手県大槌町に訪問するなどの活動を行ってきた。

平成23年3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が発生し、未曾有の大災害となった。本町では被災者の受入を行うなど、支援、救援に全力であたってきた。

また、枝肉、繁殖牛、酪農などの畜産関係者

### 東京電力に対する賠償請求

東京電力福島第1原子力発電所の事故により放射能汚染を引き起こした。町は、放射線対策経費、避難者支援対策経費を県内各自治体と一緒に東京電力に対して賠償請求した。

総額1119万円で、避難所開設経費、緊急消防援助隊活動費、被災児童就学支援などの費用である。

このたびの災害では被災県から山形県に対して救助の要請があったことから、その費用を被災県に請求したもので、川西町でも要請された救助活動の費用を請求した。

東京電力(株)への賠償請求概要		
町からの請求分 (315万7千円)	放射線対策経費	1,305,000円
	避難者支援対策経費	1,852,000円
生産団体からの請求分 (1億204万9千円)	枝肉(請求者延人数104人)	98,931,779円
	繁殖牛(請求者延人数64人)	1,280,705円
	酪農(請求者延人数32人)	1,474,492円

町では、今後も対策本部を継続して設置するとともに、被災者支援の継続、放射線測定

の継続を行うとともに、本町の災害対応の機能強化を図り、地域防災計画を見直すとしている。

が風評被害などの賠償請求を行っている。(別表)

### 今後の取組み

## まちの未来が見える (6月定例会の傍聴者は5人でした) 議会傍聴においでください 手続きは簡単 次の定例会は9月です

## 総務文教常任委員会 2市2町 広域消防スタート



置賜2市2町広域消防が4月からスタートした。119番通報受付や、救急車両の出勤には変更が無い。しかし指令組織の防災通信機能のひとつに町総務課が加わるなど、今のところ慣れるまで時間が必要のようだ。

指令台には現場の災害状況を携帯、デジタルカメラなどから送られるシステム化が必要で、今後の課題となっている。



広域消防本部の指令台、全域の地図が写し出される



補修工事が実施される大塚堀橋

橋の現状は道路上からは大きな損傷は感じられなかったが、橋の下の部分を視察すると、コンクリートが剥がれ落ちており、長寿命化のためには、早急な対応が必要であると思われる。今回は「八相山線」の視察を行った。「八相山線」は本町の西回り幹線として重要な路線であり、現在延伸に向け、米沢市と協議が進められている。道路は凍上災が発生しない構造で作られているが、路面にはひび割れが多数見られ周辺の状況などにより発生するものと考えられる。凍上災基準の見直しが必要と思われる。

## 産業厚生常任委員会 老朽化が進む橋梁・道路

今回は橋梁長寿命化修繕整備事業・凍上災害についての現地視察を行った。

長寿命化修繕計画」を策定し、今年度は早急に補修が必要と判断された、「大塚堀橋」の補修工事が実施されることから橋の現状を視察した。

### 凍上災害

凍上災とは、厳しい寒さが原因で道路舗装面にひび割れなどが発生する災害で、凍上災の採択基準があり、平成23年度は県内全域で基準を超える状況であった。



# 町民の声

## ❖ プロフィール ❖

よどの 淀野 みゆき 美幸

川西町玉庭生まれ  
小学2年生の女の子、1歳の男の子、  
夫、両親の6人家族。

玉庭にお住まいの若いお母さん、淀野美幸さんに地域のこどもや子育てについてお聞きしました。

### 川西町に住んでいて

私は、玉庭生まれの玉庭育ちです。夏は暑くて、冬は雪がものすごく多いのですが、住めば都で、そんな玉庭が私は大好きです。子育てをする環境も整っていて、安心して子育てをすることができま

す。大自然に囲まれ、地域の温かい支援があるこの玉庭で子育てができることは、本当に幸せなことだと思います。

この地区は、地域の子どもたちは地域で育てようというような慣習があると思います。ただ、年々子どもが減少していることが心配です。

### 子育てを「思いつく」と

私の家には、元気な二人の子どもがいます。共働きなので、専ら子育てでは、ばあちゃんに



子どもは家庭・地域の宝

### 地域や町のために

まかせつきりなのですが…。でも仕事が休みの日には、家族で買い物に行ったり、食事に行ったり、晴れた日は公園で遊んだりすることが何よりの楽しみであり、私のストレス解消にもなっています。子どもは家族・地域の宝だと思います。地域の子どもの笑顔を絶やさないことが我々大人の使命だと痛感しています。

地域の幼稚園や学校が統合でなくなっていくことは寂しいことだと思いますが、子どもたちが不便なく、勉強やスポーツに専念できるように、精一杯バックアップしたいです。地域から学校がなくなっても、家庭から子どもたちの情報を発信していきたいですね。

## 編集のあとで

▼ようやく「ホッケーのまち」にふさわしい待望の人工芝ホッケー場が今秋には完成する。これを機会に、競技力・競技人口の向上に結びつけ、日本一を目指しさらに精進してほしい。▼ロンドンオリンピックが間近にせまり、なでしこジャパンをはじめ、日本選手の活躍が期待されている。スポーツは、人々を元気づけ、感動を呼ぶ。この夏は、暑い・熱い日々となりそうだ。

(高建)

- 発行責任者 齋藤 修一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 斉藤 智志
- 委員 高橋 輝行
- 同 高橋 照夫
- 同 高橋 建一
- 同 遠藤 章一
- アドバイザー(文章) 小林 伸也
- アドバイザー(写真) 近野ユキ子
- アドバイザー(写真) 阪野 吉平
- 青木 督平
- 鴨 源一